

2016年8月
1104号

万葉

Manyo

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

祝！一冊の会赤松良子世界インターネット配信10周年 フェイスブックで世界へ羽ばたく

8月の中旬から次々と台風がやってきた東京でしたが、8月24日、赤松先生の87回目のお誕生日は晴天に恵まれ、今年もささやかながら一冊の会の事務所で10回目のお誕生会を開催することができました。高木美智代衆議院議員、一冊の会理事長である石田尊昭尾崎財団理事・事務局長、一冊の会親善大使カズンから漆戸さん、同じく一冊の会親善大使ドン・アルマスからは桜庭さんと谷島さんが駆けつけ、一冊の会メンバーと合わせ総勢15名でお祝いたしました。

時刻は夕方でしたが、赤松先生はお忙しい中御出席くださいました。お出迎え組の拍手に迎えられ事務所にご案内。恒例の「ハッピーバースデー」を大合唱。今年は親善大使のカズンとドン・アルマスのリードのお蔭でいつもと一味違う、大変盛り上がった合唱となりました。

次にプレゼントコーナーです。植木鉢、白桃、梨、小物、チョコレートのお菓子をお渡しし、石田理事長から6月に発行された著書『18歳からの投票心得10カ条』を、高木美智代衆議院議員からとらやの羊羹をプレゼント致しました。

ここで、結婚や婚約が決まったメンバーに、赤松先生からお祝いの赤いバラがプレゼントされました。1人目はフェイスブックなどITを担っている山内聖士さん。2人目は尾崎行雄人権紙芝居のナレーターを務めた村岡清佳さん。3人目は親善大使としてご活躍されている、ドン・アルマスの桜庭伸弘さんです。



今までに赤松先生からお祝いして頂いた者の代表として、3年前に先生からバラを頂いた今元佑美さんと赤田から、お礼と近況をお伝えしました。今元さんは、昨年6月に第1子を出産し育児をしながらボランティアや勉強に励み社会復帰に備えていること、赤田は理解ある夫に恵まれて一冊の会の活動を続けられていることや、先月2人で原爆ドームを見学したことを報告いたしました。

最後に、大槻会長から改めてお祝いの言葉をお伝えし、今年で赤松良子世界インターネット配信10周年であります。今では「フェイスブック」を利用してリアルタイムで情報を発信できる時代になり、一冊の会もアカウントを取り頻りに世界に向けて情報発信していることをご報告いたしました。赤松良子世界インターネット配信で培った基盤や時差に悩まされるといった苦労があったからこそ、新しい情報媒体であっても速やかにメンバーに広まり、時差に悩まされることがない有り難さを噛みしめながら閲覧しております。

途中、司会の小山副会長が赤松先生に「どうぞお座りください」とお伝えしましたが、なんと先生はここまで長時間お立ちになったまま、大変お元気なご様子に感心いたしました。今年はエンターテインメントがございませとのお伝えし、ここで皆で座りました。まずはメンバーの佐藤玉美さんが歌う圧巻の「蘇州夜曲」です。伴奏は

カズンの漆戸さんがキーボードを弾いてくださいました。次に、漆戸さんが即興で「赤松先生おめでとうございます」とメロディーにのせて歌ってから一曲歌われ、その歌声に皆ほれほれといたしました。ドン・アルマスのお2人は情熱的にギターを弾き、近くで奏でられる素晴らしいハーモニーとその迫力に改めて感動いたしました。最後に、皆で「あめふり」と「みかんの花咲く丘」を、カズン漆戸さんの伴奏のもと合唱いたしました。



それから、大槻会長と先輩の新井明子さんと藤沢まり子さんが作ったおいしい料理を、歓談しながら頂きました。石田理事長が「一冊の会は設立50年、折り返し地点です。50年後の137歳までお元気でいてください」とお話されると、赤松先生はたいへん笑っておられました。赤松先生は、事務所に飾られた「クオータ制」の文字をご覧になり「平和のため、女性のため、頑張って欲しい」と激励してくださいました。来年のお誕生日当日も、是非一冊の会で行いたいのでは非いらしてください！とお伝えし、来年は先生は88歳ですから米寿のお祝いを、もっと多くの人が集える場所で開催することを誓いました。



そんな先生の激励に、本日赤いバラをもらった村岡さんは、赤松先生が作った均等法に感謝しながら、女性の特性を活かし今後も社会に貢献することを誓いました。村岡さんは日々世界を相手に仕事しており、友人に紹介された現在の婚約者は、女性の能力を認めていて海外の女性が如何に活躍しているかを認識している方だそうです。

また、以前赤松先生から結婚祝いとしてバラの花を頂いてから3年たつ、今元さんから感想を頂いています。「赤松先生の前で発表することに大変緊張しましたが、感謝の気持ちを直接お伝えできて良かったです。参加者全員で夏の歌を歌った事も思い出になりました。赤松先生も楽しまれている姿が印象的でした。最後に赤松先生が平和の大切さについてお話をしてくださいました。平和じゃなければクオータ制を推進していく事も出来ません。これからも平和な世界になるよう考え、行動していこうと気持ち新たにさせていただきました。」

出席者一同クオータ制の推進を力いっぱい努力することを誓い散会となりました。赤松先生、おめでとうございます。来年も是非お祝いをさせてください。



文責：赤田